

農民日記について

—葦沢家日記要項 1—

高木俊輔

はじめに

近頃、日記史料の刊行がさかんになっている。その一端は、すでに本学部研究紀要『人文科学論集』第21号に、リスト化して発表してある。そこでも指摘したことであるが、今までに刊行された日記史料は、公卿や政治家、あるいは志士によって書かれたものが多く、農民や在野の知識人の手になるものは、比較的少ない。

私は、民衆の生活史や村落情勢にかかわる内容を含む日記史料に注目し、その研究を推進したいと考えるものであるが、そうした日記史料は、筆記をした農民や知識人の家庭内のこと、家計や交際などの私的な部分を書き込んでいるのであり、こうしたプライバシーとかかわる意味で、史料の所蔵者が公開を避けてきたという面がある。また、一農民の日記という場合、市町村史(誌)や府県史など公の刊行のなかに組み入れられた場合は別として、単著として出す場合は、要する資金のわりに市場性がごく限られていること、その一方で大手の出版社の出版計画にもおらず、なかなか入手が困難であるという難点があり、この分野の研究が立ち遅れてきた点は否めない。しかしながら、近世・近代史の農村史研究、また民衆史、生活史、社会史などの研究の発展のためには、地方農村に残されてきたものであっても、良質の日記史料が公刊され、学界の共有財産になることが望ましい。

本稿は、これまでの日記史料調査のなかでももっとも良質の内容を持っている、と判断される長野県東筑摩郡麻績村(旧村名麻績町村)の葦沢家の所蔵になる龐大な日記を、前半部分の要項に限って紹介することにした。

筑摩郡麻績町村の村高は、明治2年(1869)で1275石あまりであった。弘化3年(1846)に家数251軒、総人口1072人、文久4年(1864)に家数245軒、総人口1074人、という規模の村であった。村とはいえ、古代には松本から善光寺平へ出る途中に設けられた宿駅(麻績駅)であり、鎌倉期に入ってきた麻績服部氏の城下町として発達し、江戸期になると、幕府直轄の天領になり、口留め番所が設けられ、松代藩領に対する女改めや穀留の要地とされたところである。

葦沢家は、加賀屋という屋号をもち、代々村役人の家柄で、弘化4年(1847)に名主になった。明治期には、小学校の教師をしたりしているが、明治20年代には薬種商、また昭和期まで雑貨商を営んだ家である。葦沢家日記は、「歳中日記帳」「年中日記帳」などといい、横長帳にぎっしりと日々の出来事が記録されている。嘉永6年(1853)4月にはじまり、途中文久期に欠年があるが、明治、大正、さらに昭和24年までそろっている。年によっては200枚近い分量があり、その内容の龐大さは他には類をみないほどである。幸いなことに、

葦沢家の筆記者が各年度ごとに見出し（要項）を付けているので、今回はその幕末の部分（嘉永6年は見出しがないので）嘉永7年（安政元年）より慶応3年（1867）までの見出し部分を、読みやすいかたちにして紹介することにした。

嘉永七寅年

当春之儀ハ稀成年柄ニ而四阿山ニ雪少々見ゆる斗ニ而外山ニ者日陰ニ成共雪無御座候、法善寺へ盆・正月之勤之儀ハ去嘉永四亥年益三ヶ年之間倍勤仕候処当正月迄ニ相済申候、但し当家之儀ハ三ヶ年之間四百四拾八文宛持参仕候

正月

2日 菅之輔宮参り仕候、右ニ付帯刀殿方へ手樽遣ス
4日 忠右衛門・源作伊勢参宮出立仕候
7日 半兵衛方ニ而金三拾八両盗難遭申候
12日 実之輔里開ニ参り申候
19日 裏倉蔵方ニ而男子出姓仕候
23日 髪結林蔵と申者囚人ニ而女房おりく林部官吾召捕当方ニ止宿仕候
27日 矢倉村林七死去仕候由
28日 光明寺ニおみて定例之通り百姓代入札、梶浦染四郎、上町平左衛門

2月

朔日 おたき妹おつる小泉村へ縁付行、同日尅朱銀此度ノ通用仕候様御触来り候由承ル
6日 林平はしか仕候、尤軽キ方ニ御座候
7日 直右衛門三男弥八死去仕候 但シ弔歳
同日 忠右衛門・源作上方ノ不向仕候
11日 林屋へ払物下調ニ行
14日 林屋払物仕候、同15日同断
18日 御役所ノ被仰渡候ハ此度アメリカ船渡来ニ付 御公儀様物入ニ付献金仕候由、御廻村ニ而御沙汰有之候
19日 文右衛門倅連蔵女房高萩茂左衛門娘来り申候
22日 半兵衛倅熊平女房安産、女子
29日 忠兵衛妻上州大笹ノ縁付来り申候
晦日 佐吉倅甚蔵へ山中竹房藤太妹縁付来り申候

3月

5日 裏倉蔵親磯五郎死去仕候

8日 忠五郎倅九蔵江山中ノ姫縁付来り申候
10日 孫右衛門方ニ而宗判印形仕候
12日 上田房山ノ実之輔夫婦入ニ来り申候
16日 下町磯左衛門方ニ而旅人死去仕候
17日 下町佐吉死去仕候
26日 夜法善寺ニ而蟻子盗捕れ申候
27日 裏倉蔵方ニ而盗難ニ逢申候
4月
6日 八十八夜種蒔之日
10日 お婦み乳はらし申候
19日 半兵衛女房三回忌ニ当り蕎麦来り
23日 夜子尾耕地庄三郎出火焼失仕候、甚次郎長屋類焼仕候
23日 朝同 耕地紋之助死去仕候
5月
2日 下町七郎兵衛方家建仕候、実之輔泊リニ来り申候
4日 中野条御手先坂木宿大丸屋重助と申者ニ下町柴左衛門本廻ニ相掛り申候
6日 坂木宿へ芝居見物ニ罷越申候
20日 上町彦左衛門死去仕候
22日 上町段右衛門母死去仕候
23日 中林屋兵左衛門死去仕候
24日 田植仕候
6月
朔日 野休仕候
4日 蚕桑付申候並蚊屋釣初メ仕候、茄子苗植ル
5日 林屋熊平女子死去仕候
7日 木曾屋仙右衛門女房おやそ死去仕候、同日菅之助道初申候
晦日ヨリ七月朔日迄英光庵五十年忌、瑞庵三年忌向伊兵衛廿三年季、江戸小鷲屋久兵衛七年季、都合四ツ法事仕候
委細尅回季（忌）之帳面ニ印置申候
7月
朔日 西谷熊蔵母死去仕候
10日 蟬之声聞初ル
14日 法善寺へ倍勤之儀正月相済、百四拾文持行

22日 天気祭リニ而神明宮へ参詣仕候
 23日 村本屋吉郎次女房死去仕候、惣三郎女房同
 断
 25日 宇八棹寅三郎別居仕候
 閏7月
 朔日 忠兵衛親音術あんま坊主ニクヒツカレ候
 8日 坊平ニ而狂言有之申候
 14日 千本柳邦太郎へおりう荷物浜太郎ヲ頼差遣
 し申候
 24日 中町松次棹松吉死去仕候
 26日 庄作女房ヲ吉之丞ニ被盜候ニ付、昆雜仕候
 8月
 2日 中村や平助母およし死去仕候
 7日 法善寺庭ニ狂言有之、但中町若キ者中ニ而
 墓所普請出来ニ付割合仕、書類取極申候
 9月
 9日 宮本種之助門内ニ而狂言仕候
 27日 又三郎方出産仕候
 27日 永井村善蔵、同村和四郎方車屋へ盗ニ追入
 候付、和四郎ニ召捕れ候
 10月
 9日 下町永左衛門田ニ大善院火シヨ仕候
 20日 御朱印御改ニ付法善寺方丈出立仕、此度帰
 リ
 28日 林屋半兵衛手鎖ニ相成申候
 28日 向浜太郎・金之丞棹新作、江戸へ家出仕候
 11月
 2日 献金之御請書一同ニ而仕候
 3日 幸八方ニ而弘物仕候
 4日 朝五ツ時大地震、松本御城下其外諸国潰候
 7日 仁熊村新左衛門母死去仕候
 25日 法善寺鈍平様夜燈を建つ
 12月
 11日 和合村久次兵衛妹、孝平女房ニとり今晚婚
 礼相整申候
 21日 林仙右衛門女房婚礼仕候
 同断 金七娘掣取仕候、後離縁ニ相成ル

安政二卯年

正月

7日 和合久次兵衛方明日孝平掣入仕候迎認物仕

候
 8日 上町文五郎死去仕候
 15日 御役所へ献金仕候ニ付、御酒被下割付賦仕
 候
 18日 夜且那方御廻リ之節、下町平太儀逃去リ申
 候
 19日 直右衛門方ニ而出産有之
 28日 役場ノ七カ条申聞候
 29日 焔摩堂ニ博奕有之候
 2月
 6日 盜賊大三郎ヲ中野糸手先野口村手前ニ而召
 捕候
 19日 下町長次郎次男上町茂七方へ内々養子ニ行
 24日 峠道普請仕候
 25日 上町佐平次方へ法事ニ行
 27日 髪結豊吉のふれん掛初申候
 3月
 3日 林平大学ヲ読初申候
 4日 定使安太郎家内一同下町又七方養子ニ取極
 申候
 4日 宮本豊後方弘物有之
 5日 髪結方ニのふれん披露仕候
 5日 丹波国之者下町平助方ニ而死去、御役所へ
 御訴申候
 7日 平助方死人御見分有之
 21日 庚申講仕候
 4月
 6日 七兵衛方法事有之
 9日 惣左衛門水車之儀此度調印相願申候
 11日 林平大学読終ル
 13日 永左衛門伯父死去仕候
 17日 林平中廂読初ル
 18日 堰下普詣有之
 18日 小布施五兵衛女房死去仕候
 25日 代右衛門方ニ而盜賊ニ合申候
 23日之夜 林や熊平女房出産仕候
 28日 刈敷相初リ候
 5月
 6日 おふみ乳はれ難儀仕候
 8日 田植仕候
 10日 丈輔倅森之助死去仕候
 16日 惣左衛門水車一条規定調印、右書寄本拙者

受取

6月

- 2日 忠兵衛持堂惣善寺大破ニ付麦藁寄付仕候
 8日 上町段右衛門親遊助死去仕候
 13日 裏倉藏悴死去仕候
 17日 永井村当番ニ而神明宮ニ而狂言仕候
 18日 峰松夫婦連ニ而江戸ヨ帰り
 22日 林平中廂読終ル
 7月
 9日 夜番初リ候
 15日 向浜太郎・常三郎・平重、太神宮へ抜参リ
 =行
 20日 麻績森大明神棟上仕候
 20日 林平論語ヲ読初ル
 21日 六月十三日宮本雅楽死悴寿作内々ニ而女房
 迎ふ
 25日 仁右衛門方ヨ木曾荷物間屋札借用仕候
 26日 下町喜十出火仕候
 28日 下町吉兵衛親八十八死去仕候
 8月
 10日 先年元右衛門持山ニ建有リ候金毘羅山ヲ訳
 有之法善寺御朱印地へ引移し申候
 20日 越後講官板掛初仕候
 23日 上町佐平次女房おまち死去仕候
 25日 下町太神宮拜殿棟上ニ付呼れ行
 26日 臼井喜寧太引越来リ八十吉方借家仕候
 28日 梶浦耕地狂言鶯古之場所喧嘩有之
 9月
 7日 坂木ヨ出産之手紙来ル
 9日 千本柳兵左衛門母死去仕候
 15日 月そく皆かけ
 10月
 4日 政十郎小児死去仕候
 5日 周次江戸ヨ夫婦ニ而帰ル
 5日 (今日旅人ヨ承リ)十月二日江戸大地震
 10日 米蔵・平助一件内済ニ相成候
 28日 上町八百蔵死去仕候
 11月
 2日 喜左衛門女房死去仕候
 20日 上町久四郎養父佐十郎死去仕候
 22日 孫右衛門方ニ而郷中判頭打寄、善悪之入札
 仕候

晦日 萬や鉄五郎養父丹右衛門死去仕候

12月

17日 上町彦左衛門養子繁作婚礼仕候

安政三辰年

1月

- 4日 下町又兵衛、上町佐四郎方へ罷越出立仕候
 6日 白銀屋長家借宅仕居候岩吉方ニ而巨燵焼候
 =付大騒ぎ仕候
 8日 喜左衛門方ニ私物御座候
 12日 上町小伝次女房死去仕候
 17日 明七ツ半時地震有リ
 20日 下町庄作次男衣服仕候
 24日 下町金之丞悴新之丞中原村ヨ嫁取申候
 25日 林平登山仕候
 28日 光明寺ニ而百姓代入札仕候
 29日 晦日・二月朔日、七兵衛方柳七方馬人足之
 会合有之

2月

- 21日 —
 23日 下井堀村ニ而天王畑高ならし仕度御出役有
 り、右ニ付当村へ沙汰有之右ニ付天王持畑之
 者共呼出ニ付行
 24日 弥四郎養子喜兵衛改名仕度ニ付孫右衛門方
 =而会合有リ
 27日 二月六日上田柳町紙屋藤兵衛孫女死去仕候
 =付廿七日災之輔方ヨ申来ル
 29日 裏倉藏女房出産仕候

3月

- 4日 御勘定奉行並御普請役榎御通行
 5日 道普請有リ
 7日 上町豊之丞発起無尽相立候、尤寄金三拾兩
 拙者三分老加入
 16日 仁右衛門方旅籠屋談事有之
 17日 林平ヲ進善光寺参リニ行
 17日 向宇八方へ疱瘡見舞進ス
 十五日ヨ廿八日迄長谷観音開帳有之候
 23日 林平論語読終ル
 24日 安坂村漸々耕地ニ出火有之
 26日 清五郎大和屋座敷の方へ転宅仕候
 28日 種蒔ニ而遊ぶ

- 29日 半兵衛七拾兩無尽発起仕候、拙者半口加入仕候
4月
2日 当三月十一日江戸小嶋屋伊兵衛内室死去仕候由申来ル
5日 三郎兵衛裏ニ而芝居有之候
10日 乱橋村ニ狂言有之由
15日 山中巻之嶋玄蕃稻荷参りおふみ行四月十三日洗馬宿焼失仕候由並先月下旬伊奈飯嶋焼失仕候
16日 大峰講官板掛初ル
17日 下町惣五郎家棟上仕候
19日 林平孟子読初ル、同日味噌仕入仕候
21日 孫右衛門方会合有之候
24日 隠宅伯母死去仕候
25日 弥四郎方出産有之
27日 夜半兵衛次男嘉藤太家出仕候
5月
9日 下町久左衛門方小児死去仕候
18日 田植仕候
21日 野休初ル
23日 宇城南坊持山弥四郎方へ譲り渡ス
23日 七兵衛方男子出産仕候
29日 江州雨の森村嶋田孫四郎方より状来ル
6月
2日 文五右衛門方不幸有之
13日 伯母五十日法事仕候
15日 萬や鉄五郎方より猫子貰ふ
17日 安坂村神明宮ニ而狂言仕候
19日 夜、母中風再発仕候
20日 冷氣ニ而人々袷ヲ着ス
20日 大和屋丈輔家内一同鈴子村より帰ル
25日 大山講発起仕加入仕候
25日 隠宅をあんま龍慶へ貸、今日引越
27日 上町山ノ手重右衛門死去仕候
28日 花屋ニ而平六郎七回忌仕候
7月
8日 豊之丞孫元三郎死去仕候
12日 とよの川のとよ掛替仕候
13日 上田より浪花講看板来ル
14日 上町権之丞孫死去
18日 下町金七死去
20日 上町惣助方不幸
22日 実之助泊り来ル
24日 菅之助不快
26日 峠池組秋仕候
26日 下安坂狂言有リ
29日 上町ニ狂言有之
29日 孝平夫婦口論仕候
8月
朔日 上町佐平次宅ニ而狂言仕候
2日 宮尾喜兵衛大山へ参詣仕船宅仕候
7日 半兵衛次男金子ヲ取家出仕候
9日 野口村ニ狂言有之
14日 上町重右衛門女房死去仕候
17日 晩、矢倉村ニ狂言有之
19日 小三郎悴死去仕候
26日 永井村文珠様花火
9月
朔日 日そく九ツ時四分半
朔日 八月廿五日江戸大嵐有之
7日 八幡村之者共峠池へ網入レ御座ニ付役人並小前之者罷越候
13日 せとや孫右衛門死去仕候
21日 髪結豊三郎女房ヲ中村屋平助と密通仕候旨顯れル
26日 稲刈初ル
26日 八十吉死去仕候
26日 孫右衛門死去之後落書所々ニ張有之
10月
4日 法善寺屋根瓦葺と相成ル
11日 七左衛門名主役御役所より被仰付候
16日 戸隠山へ参詣仕候
16日 矢倉村古山喜四郎母死去仕候
25日 別所観音へ参詣仕候
29日 おふみ坂木へ泊リニ行
晦日 江戸より関東講官板来ル
11月
2日 坂木宿宮原庄吉ぢい死去仕候
3日 藤五郎方不幸
7日 勝右衛門親幸八死去仕候
10日 浪花講・関東講官板掛ル
16日 伊兵衛方ニ乞食芝居有之
17日・18日 乞食芝居有之

- 22日 村方米高調仁右衛門方ニ仕候処一決仕候
 25日 宮本雅楽亮女房死去仕候
 26日 上町佐平次娘茂七方縁付行
 12月
 4日 峰松妹嘉忠太方へ縁付候
 4日 玄秀弟鼠宿玄慶と申医師の方へ養子ニ行
 20日 夜中頃宮尾喜兵衛死去仕候
 23日 博奕改として町内役人中ニ而見廻リ仕候

安政 四 巳 年

1 月

- 4日 上田へ病氣見舞行
 9日 せつぶん
 10日 下町永左衛門死去仕候
 16日 暁大地震有リ
 18日 矢倉村浅吉方へ願借古ニ行
 20日 髪結豊三郎閣打ニ逢申候
 26日 おまるめ仕候
 27日 忠右衛門方花会ニ行
 27日 豊三郎死去仕候

2 月

- 朔日 豊三郎死去ニ付御檢使有之
 7日 弥四郎方法事呼れ行
 16日 下町新之丞曉死去仕候
 21日 仕立屋徳兵衛へ隱宅貸申候
 22日 新堂比丘尼死去仕候
 24日 青柳吉兵衛死去仕候
 25日 波藏方へ養子来ル
 26日 坂木兵左衛門花屋へ泊り来ル
 28日 上田喜右衛門泊り来ル
 28日 上町幸左衛門死去仕候

3 月

- 4日 七左衛門方会合有之百姓代之儀ニ付
 8日 仁右衛門方ニ而宗判有之
 10日 林やどころぼしニ呼れ行
 12日 坂木へ年始ニ行
 12日 ちとせやニ泊り候旅人死去仕候
 13日 下町儀助母死去仕候
 16日 下町孫兵衛孫女死去仕候
 19日 宇八嫁呼ニ付おふみ呼れ行
 19日 清五郎娘松本ノ婚宅仕候

- 21日 宇八方七夜ニ付呼れ行
 21日 忠右衛門方ニ而芝居顔みせ仕候
 24日 上町増之助方棟上仕候
 26日 七兵衛梓並金吾並大和や惣右衛門三人ニ而
 金毘羅山へ出立仕候

4 月

- 2日 味噌焚仕候
 2日 才三郎冥ニ落火有之候
 3日 上町ニ而芝居顔みせ仕候
 8日 矢倉村善導寺隠居和尚死去仕候
 9日 厩穀御見分有之
 12日 味噌仕入仕候
 14日 法善寺屋根棟上披露有之
 23日 法事仕候

5 月

- 2日 弥四郎方ニ養子婚礼有之
 8日 宇八次男死去仕候
 12日 御勘定様御泊リ
 17日 七兵衛梓榮之助參宮下向
 20日 孝平八十吉方借家仕候
 22日 下町庄作娘おぬい死去仕候

閏 5 月

- 8日 庄作梓仙之助江戸ヨ来ル
 6 月

6 月

- 11日 豊之丞仲金五郎女房安産仕候
 19日 法善寺御朱印御役所ノ御下リ
 23日 半兵衛次男嘉藤太江戸へ行
 25日 七兵衛六男庄之助死去仕候

7 月

- 11日 真月庵石碑建ル
 11日 坂口や幾蔵母死去仕候
 13日 下町金次燦の火元放シサハカシキ
 15日 湊や孫左衛門女房死去仕候

8 月

- 9日 法善寺山金毘羅山鳥居建ル
 17日 上町多右衛門家棟上有之
 19日 中村や兵左衛門女房死去仕候
 28日 裏畑東の方へ水道抜仕候

9 月

- 2日 御公役様御泊リ
 6日 御公役様御小休
 16日 上田常弥女房死去仕候

21日 大黒屋永蔵女房死去仕候
 27日 文五右衛門方ニ止宿仕候者べてんニ而召捕申候

10月

3日 先月上田様御老中ニ相成候
 11日 平右衛門方年回有之
 14日 亀松念仏まるめ有之
 16日 上田金之助泊リニ来ル
 18日 弥四郎方喜兵衛老周忌法事仕候
 23日 桑原新右衛門方年回ニ付おふみ行
 23日 役人談事之上与右衛門宿帳ニ廻ル
 29日 青柳八郎右衛門方ニ止宿仕候旅人盗難逢ひ候

11月

朔日 裏倉蔵中村や借宅仕候
 2日 坂木上田へ行尤常弥方へ悔ニ行
 3日 白銀屋与右衛門次男喜右衛門妻ヲ迎ヒ申候
 6日 上町茂七母死去仕候
 7日 冬至ニ入ル
 10日 上町清四郎方不幸有之
 10日 上町喜右衛門泊リニ来ル
 12日 中原惣右衛門大当ねり候右ニ付八幡参ニ行
 15日 下町庄作方年回有之呼れ行
 21日 小寒ニ入ル
 22日 義左衛門・半三郎・文五右衛門養子泰三郎
 兩人牢仕候由

12月

朔日 仁右衛門方ニ而昨年越中之者ノ娘預リ此度江戸ノ迎ニ参リ逃シ申候
 朔日 宮本日向一条济口ニ相成申候
 5日 浦野宿大黒屋安左衛門弟花屋平右衛門養子内酒差入申候、尤坂木勇龍越取極申候
 16日 青柳宿青柳八郎右衛門方ニ盗賊仕候囚人中野条へ被召捕松本へ引取ニ相成
 20日 昨夜下町十王堂ニ而首経有之候
 21日 立春せつ
 26日 餅搗仕候
 21日 坂木宿勇花屋へ泊リニ来ル

安政五年年

1月

2日 葦沢御七母おしづ死去仕り葬式五日
 5日 上町信濃屋久四郎母死去仕候
 17日 林や半兵衛死去仕候
 22日 平右衛門結納ニ罷越申候

2月

4日 綿やおまるめ仕候
 12日 嘉作方婚礼有之
 16日 下町泰三郎初外五六人ニ而拙者裏井戸石持行度申来ル、右ニ付相断申候
 19日 林屋どふころぼしニ付呼れ行
 22日 上町大石屋惣左衛門方賀之祝ニ呼れ行
 24日 上田喜右衛門泊リニ来ル
 25日 上町信濃屋久四郎方婚礼有之
 27日 白井平右衛門方養子賀婚礼仕候
 27日 上町庄兵衛並下町金七方東田沢村養子賀婚礼仕候

3月

5日 林や五十日法事仕候
 6日 七兵衛三十三回忌法事有之申候
 6日 直右衛門方ニ而花屋之掣呼仕候
 8日 忠兵衛ニ而同断
 8日 下町源太方乞食芝居有之
 10日 飯縄山当十五日之処今日祭礼仕候
 11日 光明寺芝居有之
 11日 坂口や新作婦宅仕候由
 14日 別所村富蔵山開帳初ル
 14日 上田房山村城田恒右衛門夫婦泊リニ来ル
 22日 坂木宿宮原生吉妻廿一日死去仕候
 24日 中町勘左衛門居宅棟上仕候
 26日 平右衛門先日組頭役退役願仕候御免相成申候

4月

6日 林屋持家勘左衛門隣棟上仕候
 10日 花屋掣呼宮尾同断白銀屋同断仕候
 10日 晩宮本雅楽亮梓寿作婚礼仕候
 16日 組頭役入札仕与右衛門へ落札
 23日 永福関東講元止宿仕候

5月

8日 土姓水姓うけニ入ル
 13日 野休
 15日 下町惣五郎婆死去
 23日 喜八孫死去
 6月
 11日 いつみや善五郎方不幸有之
 22日 京都御門跡様御類焼
 24日 弥四郎方出産有之
 29日 晩メ法事仕候
 7月
 2日 仁右衛門半仙右衛門娘死去
 5日 鉄炮之儀ニ付仁右衛門方会合有之
 9日 和州植村出羽守様御通行
 15日 江戸ノ異国舟渡来仕候並御公儀ニ而昆雜之由承ル
 17日 下町孫兵衛半七蔵死去仕候
 22日 下町永左衛門母死去仕候
 24日 仁右衛門半仙太郎女房死去仕候
 8月
 4日 神明宮定例之角力当年ノ花角力ニ相成申候
 7日 弥四郎孫女死去仕候
 12日 神明宮御せん宮ニ而江戸角力興行仕
 12日 今晚丑寅之方ニほうき星出ル
 12日 上町近江母死去仕候
 15日 江戸ノ御用状之趣
 15日 当月八日公方様崩御被為遊候由
 16日 夜番相初ル
 17日 向又三郎女房出産仕候
 21日 倉蔵小児死去仕候
 24日 晩西之方ほうき星出ル
 晦日 未タほうき星見ゆる
 晦日 江戸辰次郎母当月十六日死去仕候由
 9月
 16日 入り畑水道秋
 21日 弥四郎方年回有リ
 24日 下町久左衛門死去仕候
 27日 巨燧明ル
 29日 御検見ニ付坪ためし有之
 10月
 10日 下町孫次男嘉右衛門死去
 11日 裏倉蔵方出産有之
 20日 大和や文輔一条ニ付親類連印仕候

22日 母持病差発ル
 11月
 12日 浦野宿大黒屋安左衛門方不幸ニ付行
 15日 才三郎三男死去仕候
 20日 法善寺奉加会合有之候
 27日 桜屋直右衛門娘上田原町孫や安兵衛妻ニ引越申候
 12月
 7日 下町儀左衛門半三郎三ヶ年以前御咎メ之処御免ニ成ル
 9日 菅之助実語教読初ル
 16日 七兵衛嫡男栄之助元服仕候
 17日 茶の間取次壺表替仕候
 18日 又右衛門日雇勘定仕候
 22日 林平塩崎へ遣ス
 28日 日向一件相済申候

安政六年

1月
 5日 せち呼仕候
 8日 位牌段之儀ニ付法善寺へ行
 9日 峰松喜寧太方へ家ちん證文出ス
 10日 大坂松屋基四郎方へ手紙遣ス
 10日 中町文右衛門母死去仕候
 12日 永井村善蔵方へ謡稽古ニ行
 17日 直右衛門方へ上田ノ御入有之
 17日 半兵衛年回有之
 19日 晩とうころはしニ而呼れ行
 20日 倉蔵宅ニ而謡初有之
 25日 朝前歯沓本抜ル
 26日 中西与太夫方へ手紙遣ス
 26日 半兵衛方ノ召使下女貰請
 28日 坂木へ年始ニ行
 2月
 3日 忠兵衛旅人盗難ニ途ひ申候
 5日 林平塩崎へ使ニ行
 5日 峰松喜寧太方へ引越申候
 5日 豊之丞次男類蔵婚礼仕候
 7日 文輔仏ノ岩山立木禿候処破断仕候
 11日 花屋おむら浦野へ嫁仕候
 13日 又右衛門・拙者隠宅ヲ出立仕候

13日 峰松見せひらき仕候
 16日 山中巻の嶋へ参詣ニ行
 17日 木曾屋仙右衛門引越仕候
 20日 上座縁側障子張ル
 22日 中抜障子張ル
 26日 小三郎方巨燵が火出ル
 24日 市之丞俸金吾嫁取ル
 28日 虚空蔵焼失
 28日 猿ヶ馬場峠ニ而追はき有り
 28日 上町惣左衛門死去仕候
 3月
 6日 仁右衛門方宗判
 8日 直右衛門方抱瘡流し
 9日 清五郎方同断
 10日 仁右衛門方割
 12日 峠道普請
 13日 徳三郎江戸の帰宅
 14日 下町忠右衛門方あんま死去
 24日 郷中ニ而薪材今日入札
 26日 与右衛門次男死去仕候
 29日 官板塗替仕候
 4月
 2日 菅之助抱瘡流し
 3日 新右衛門方婚礼
 7日 秋田屋年回
 13日 中町吉右衛門方不幸
 14日 飛脚屋不幸
 15日 千歳や盗賊入ル
 16日 同人裏道普請
 18日 おふみ善光寺へ行
 21日 裏井戸端木ころぶ
 21日 法善寺の普請見舞ニ来ル
 22日 囲殻一条相分ル、此日囲殻帳仁右衛門方へ
 存冊渡ス
 24日 堰下普請
 24日 徳三郎乱心之躰
 24日 林平坂木の帰ル
 24日 大石や金右衛門死去
 25日 裏ツキノ木之儀ニ付仁右衛門の沙汰
 26日 坂木男呼ぶ
 28日 大石や惣左衛門方淋し見舞行
 28日 忠兵衛旅人金子紛失仕候

5月
 7日 藤五郎梓庄四郎女房死去
 8日 上町寅之助母死去仕候
 8日 清五郎梓加茂次郎先已の不快
 8日 裏隠宅へ末吉引越仕候
 10日 六日上田三射山喜右衛門方安産仕候由十日
 ニ承り申候
 14日 番水初ル
 17日 サヒラキ仕候
 19日 川原田所砂入ニ成ル
 24日 野休ミ
 26日 江戸喜兵衛庄作方へ来ル
 28日 林平詩経読初ル
 6月
 2日 林平書経読初ル
 2日 蚊屋釣リ初メ
 3日 蚕上り初メ
 5日 喜兵衛役元へ願出候
 9日 下町孫兵衛孫二才ニ而死去
 11日 おつね家出仕候
 12日 裏井戸端木立木之儀ニ付九右衛門来ル
 13日 向新右衛門夫婦隠宅仕候相談極リ候
 21日 上田喜右衛門方へ出産祝ニ行、尤五月有之
 22日 法善寺庚申講有之
 25日 宮尾誕生有之併来ル
 29日 神明宮祭礼ニ付忠兵衛事談有之並版紐山祭
 礼之儀も談有之並刈取山見之儀も談示有之並
 ニ役元を以米御触之趣役人中へ可見せ談示有
 之
 7月
 2日 日牌相付申候但し法善寺へ付リ
 13日 夜中町治左衛門裏出火仕候
 15日 下町孫兵衛方不幸
 22日 喜寧太地面峰松借地仕候
 25日 大雨降り
 8月
 2日 浦野梅次方へ丈輔の証文入ル、拙者受入
 2日 上町勇五郎死去仕候
 4日 中町丁内の孝平儀肩衣貰
 4日 晩為三郎出産有之
 6日 下町中ニ而四阿山へてうちん上度相談有り
 11日 道普請有之

16日 越後やおたつ難産仕
 21日 匝敷会合有り
 22日頃 コロリ風流行仕候由
 24日 宮本帯刀不幸
 9月
 4日 峠池鯉鮒取ニ行
 10日 上町ノ舞台狂言願出ル
 13日 中町狂言有り
 16日 御朱印御改ニ付雑用割合
 23日 富蔵江戸へ御宗判願ニ行
 29日 母不快ニ候
 10月
 4日 母死去仕候
 7日 葬式仕候
 7日 林ヤニ而出産有之
 13日 上町彦三郎不幸
 15日 宮本酒屋ニ而御本陣官板之板貫ふ
 17日 上町豊之丞方ニ而出産有之
 22日 上町ニ狂言有之
 25日 秋田ヤヘ日明ニ呼れ行
 25日 丈輔方ノ日明ニ呼れ行
 26日 榮右衛門出牢祝ニ行
 26日 柳七方庚申講
 27日 上町庄兵衛母死去
 29日 宮尾ヘ日明ニ呼れ行
 29日 下町七右衛門方まるめ
 11月
 3日 善光寺参リニ行
 5日 とよの川一条熟談ニ成ル
 6日 下町吉之丞同七右衛門家替仕候
 8日 上町佐惣次不幸
 9日 越後ヤヘ日明ニ呼れ行
 14日 若松八百之助江戸ヘ行候由
 16日 向浜太郎方ヘ日明ニ呼れ行
 17日 本陣官板掛ル
 20日 下町綿屋ニ而婚禮有之、中町勝右衛門方同
 断
 22日 上町幸三郎婆死去
 24日 庚申講仕候
 29日 宮本雅楽亮不幸
 12月
 3日 宮本堀浦ヘ郷蔵出来仕候

8日 中町喜寧太死去仕候
 9日 玄秀方婚禮有之
 12日 秋田ヤ庚申講有之
 17日 法善寺方丈江戸ノ婦寺仕候

安政七申年

1月

母之忌中ニ付宮本ヘ年頭不参仕候

4日 法善寺年頭不参
 7日 松送り不申候
 11日 桑山村下田官次死去仕由
 13日 母之百ヶ日ニ付
 17日 花屋平右衛門養生離縁ニ成ル
 21日 坂木ヘ年頭ニ行
 24日 坂木ノ塩崎ヘ行
 26日 大和尚八元服呼れ行
 27日 下町嘉忠太方おまるめ

2月

2日 林ヤニ而とふころほし呼れ行
 6日 諷先生来ル
 7日 古ル山法蔵寺和尚死去
 21日 小布施三郎次年頭ニ来ル
 24日 花屋養子内見極ニ成ル
 25日 万右衛門方私者有之
 25日 仁右衛門方庚申講有之
 27日 下町大善院女房死去
 27日 桑原新右衛門門粹舞入ニ行
 28日 下町七兵衛方婚禮有り

3月

2日 坂木舅年頭ニ来ル
 8日 宮本寿作次役願ニ仕候
 9日 江戸表大変之趣承ル後追々承ル
 10日 忠兵衛ノ七左衛門方ヘ本陣之願面差出ス
 12日 坂木年回有之おふみ行
 25日 坂木兵左衛門泊ル

閏3月

朔日 上田喜右衛門年頭ニ来ル
 2日 とよの土手普請仕候
 2日 諷先生来ル
 2日 七兵衛惣代ニ而御役所ヘ行
 4日 林平書経読終ル

- 6日 林平礼記読初ル
- 12日 宮本牡丹山用水土手普請幸領ニ行
- 16日 おてつ末吉嫁ニ成ル
- 18日 花屋ニ而安産有之当月朔日年号改ル
- 18日 年号改元御触有之
- 19日 峠道普請有之
- 25日 七左衛門方会合有之
- 26日 桑原新右衛門方へ平右衛門同道ニ而行
- 29日 松本へ出張仕候
4月
- 28日 松本へ帰村仕候
5月
- 朔日 田植仕候
- 7日 上田房山鶴屋喜右衛門方へ行
- 9日 追分宿土屋市左衛門方へ行
- 15日 上田出立夕方帰宅仕候、此夜雨大降り所々
崩所ニ相成ル
- 20日 十一日晚天神山森木倒れ候ニ付売ル
- 21日 林や下女菊野を仮り申候
6月
- 3日 松本へ出張仕候
- 17日 内帰村仕候
- 19日 出張仕候
- 27日 内帰村源右衛門兩人ニ而
- 29日 出張仕候孫右衛門兩人ニ而
7月
- 6日 源右衛門・孫右衛門・七兵衛三人ニ而帰村
仕候
- 8日 源右衛門・七兵衛・七左衛門三人ニ而出張
仕候
- 10日 右三人帰村仕候
- 23日 上町元右衛門母死去仕候
- 25日 下間屋柳七方改革ニ付申来ル
- 26日 江戸山田屋巳代吉庄作方へ来ル
- 27日 又右衛門家内一同国元へ出立仕候
8月
- 14日 内帰村仕候
- 17日 出張仕候
- 26日 坂木男来ル
9月
- 3日 春光庵一周忌上ケ時ニ仕候
10月
- 6日 半兵衛自分宅へ引越申候
- 8日 上田喜右衛門帰ル
- 8日 孝平身延山へ参詣出立仕候
11月
- 3日 坂木宿平林兵左衛門・剪宮原弥次右衛門死去
仕候由申来ル、右ニ付五日ニ行
- 11日 中町勘左衛門死去仕候
- 13日 平右衛門・拙者桑原へ見舞行
- 17日 松本へ出張仕候
- 24日 御役所当月廿九日迄日延被仰付候
- 24日 御出役有之由
- 25日 旦那方御用ニ付仁右衛門方へ申来ル罷越候
処近頃御公役様御通行ニ付御宿忠兵衛方へ被
仰付候
- 25日 林や嘉藤太詫仕候
- 27日 七左衛門昨夜帰村仕ニ付会合申来ル罷越候
処本陣一条談事有之
- 29日 小前之中へ甚右衛門・市之丞・又三郎御役
所へ罷越申候
12月
- 7日 七左衛門方御上納夫銭有之候
- 10日 煤払仕候
- 11日 御公役様御泊り
- 23日 花屋へ結納ヲ藤五郎方へ進ス
- 26日 餅搗仕候
- 文久一酉年
(記事欠)
- 文久二戌年
(記事欠)
- 文久三亥年
1月
- 8日 初太郎・常吉元服仕候由
- 12日 向屋敷へ花屋ニ而染ふせ仕候
- 15日 裏倉蔵母上町文九郎宮本源十郎粹三人死去
仕候
- 18日 上町安左衛門母死去仕候
- 20日 忠兵衛方婚禮有之由
- 21日 上町惣左衛門粹死去仕候

22日 柳七土蔵家こぼし仕候
 28日 米蔵方婚礼祝儀有之呼れ行
 2月
 朔日 向屋敷へ花屋ニ而てうな初仕候
 7日 橋本年回有之
 13日 左三郎方養生婚礼有之
 19日 庚申講仕候
 21日 下安坂村善右衛門出火仕候
 30日 下町柴左衛門御免ニ付出牢仕候
 3月
 2日 向浜太郎方ニ而手遊仕御咎ニ相成候
 3日 上町豊之丞年回有之呼れ行
 10日 愛知郡万太郎・文作下向被成候木曾や家こぼし候
 17日 日天子紅の様に見ゆる
 19日 向屋敷花屋ニ而棟上仕候
 20日 宮本雅楽亮車屋焼失仕候
 21日 林仁右衛門家建前初ル
 22日 向浜太郎方へ親新右衛門夫婦口論来り申候
 25日 矢倉村狂言有之
 29日 宮尾弥四郎女房死去仕候
 4月
 7日 向浜太郎拙者隠宅へ借宅仕候
 12日 善光寺本願上人様御通行有之候
 20日 下戸倉市郎兵衛女房死去仕候
 29日 千魁ニ付役元ニ而会合有之
 5月
 19日 大善院女房死去仕候
 6月
 4日 小笠原様之奥様御通行有之候
 19日 半兵衛方横井戸出来仕候
 21日 阿弥陀堂クリ屋根普請仕候
 28日 峠池二十枚秋フ
 7月
 8日 下町半三郎親儀左衛門今日中風ニ成ル
 17日 中町波蔵女房死去仕候
 22日 安坂村法安寺此度法地ニ相成申候
 8月
 9日 上町豊之丞梓七三郎参宮下向仕候
 11日 大工菊五郎家内一同向花屋持家へ借宅仕、今日引越仕候
 11日 上田三射山喜右衛門男今晚死去仕候

28日 向鉄五郎方へ賊忍入ル
 29日 中町勝右衛門娘羽尾村ノ養子来ル
 9月
 9日 当御支配所四ヶ組之内四十八ヶ村中野条御支配所ニ相成候風聞有之候
 29日 中町勘右衛門女房死去仕候
 28日 天王橋向惣左衛門畑畔ニ首縊り有之
 10月
 4日 御検見有り
 20日 上町佐平次母死去仕候
 11月
 朔日 越後や清五郎家内一同実家へ引越申候
 18日 花屋おむら安産仕候
 19日 白井直右衛門養子取ル婚礼有之候
 24日 髪結桑吉死去仕候
 12月
 12日 先月廿一日大坂大火之由承ル
 13日 宮本豊後死去仕候
 10日 弥四郎後妻メトル
 19日 上町藤五郎梓庄四郎坂木宿坂田や藤兵衛嫁メトル

文久四子年
 (元治元年)

1月
 2日 大和屋へ謡初ニ行
 4日 桜屋直右衛門方謡初林平呼れ行
 4日 役元ノ御役所御触面為持廻ル
 6日 旦那方御廻村有之
 8日 庄作嫁安産仕候
 14日 桜屋丈作兄を同道ニ而年始ニ来ル
 18日 庚申講ニ而花やへ呼れ行
 19日 矢代宿おのふ死去仕候
 22日 仁右衛門方会合有之
 27日 晩越後や盗賊入ル
 29日 浜太郎方安産仕候
 2月
 2日 年番百姓代役人目鑑ニ申付ル
 13日 御認状之写来ル
 22日 宮下文五右衛門死去仕候
 25日 上町佐平次方婚礼有之候

- 29日 岩淵七兵衛娘中野糸へ引越_二候
3月
- 5日 宗判
- 22日 年号元治元年と改ル触来ル
- 24日 光明寺庚申講仕候
4月
- 9日 中町文右衛門死去仕候
- 22日 味噌仕入仕候
5月
- 3日 源右衛門名主役被仰付候
- 6日 名主役披露仕候
- 10日 松本へ源右衛門・仙太郎御召連_二相成ル
- 12日 林平元服仕候
- 15日 田植相初リ
6月
- 5日 諸帳面仁右衛門方_ヲ請取申候
- 10日 道普請仕候
- 13日 清八郎_ノ忠蔵へ詫_ヒ書差出す
- 14日 松代様御通行有之候
- 14日 孝平出牢_二相成
- 26日 豊之丞方出産有之
- 29日 法事上町仕候尤瑞光庵ノ年回
7月
- 3日 満水仕候
- 11日 穴変の気立候
- 27日 上町半蔵死去仕候
8月
- 6日 瓦屋音吉庄兵衛方へ借家引越申候
- 9日 満水仕候
- 11日 鎮守揚口大破_二付揃ひ申候
- 18日 七左衛門・源右衛門・孫右衛門・栄助・儀左衛門・又兵衛梓鉄五郎右六人入牢仕候
- 25日 上町段右衛門女房死去仕候
- 28日 文五右衛門入牢仕候
9月
- 8日 仙太郎手鎖御免_二相成申候、源右衛門出牢仕候
- 15日 おふみ・菅之助・為三郎・おため・平右衛門坂木へ泊り_二行
- 15日 九太夫当町へ引越申候迎申来ル
- 20日 伝作儀御咎之処十八日御免_二相成申候尚又七左衛門・孫右衛門・栄之助出牢_二相成申候
- 由申之
- 25日 文五右衛門出牢_二相成候由尤晦日_二帰村仕候
- 26日 早稻刈仕候
- 29日 梶浦狂言有之候晦日同断
- 朔日 文五右衛門・泰蔵松本_ノ帰村仕候
10月
- 朔日 法善寺へ呼れ行
- 2日 昨夜清五郎松本_ノ帰村、今日拙宅へ参り昨日儀左衛門・鉄五郎出牢_二相成今日帰村可仕管申之
- 2日 稲刈初ル
- 2日 清左衛門・米蔵一条之儀願_二来ル
- 2日 儀左衛門・鉄五郎九月晦日出牢_二相成候由
- 3日 七右衛門母死去仕候
- 5日 組合会合仕候
- 9日 御役所出府駕_ヲ迎_二可罷越候旨被仰付候
- 7日 市野川祐蔵長家出火仕候
- 21日 秋田や穀立講有之林平選ス
- 23日 とよの川土手拵ひ
- 28日 立石_ノ庚申塚迄道普請仕候
11月
- 朔日 丹次組目_二而拙宅被召連候
- 2日 梶浦之橋出来_二付見分仕候
- 7日 清五郎娘縁付参り申候
- 11日 新右衛門方おまるめ有之
- 28日 御役所鉄砲持参為致度夫々取計
- 29日 青柳吉兵衛方不幸有之
- 27日 上町佐平次方出産有之
- 23日 七郎兵衛嫁取ル
12月
- 6日 七右衛門御免_二相成申候
- 8日 才三郎梓嫁取ル
- 18日 宮本市蔵御免_二相成申候
- 22日 十三日出府人帰国仕候由廿二日之所_二印置_ク
- 23日 七左衛門方へ安坂村代助弟縁付来ル
- 28日 七左衛門方へ石川村_ノ嫁縁付来ル

元治二丑年

(慶応元年)

1月

1・2日 朝米リ候へ共、三日ノ十日頃迄ハ殊之外
暖氣ニ御座候

16日 上町清吉孫死去仕候
16日 上町与惣太死去仕候
15日 耕地々々へ御褒美之酒割賦仕候
18日 鈴子村源次郎女房死去仕候
23日 勘左衛門婚礼披露仕候
26日 林平元服披露仕候
25日 瓦焼立年季ニ付御上様御沙汰有之質役同断
26日 孫左衛門庚申講
27日 秋田や念仏まるめ仕候
29日 孫右衛門・九右衛門之儀ニ付差留申候
29日 質礼年限ニ付御役所へ出ス
晦日 佐兵衛家屋敷詰戻之対談仕候

2月

5日 豊之丞三男女房迎ひ申候
11日 松本馬喰町出火ニ付大火
18日 下町又兵衛方婚礼披露
20日 坂木兵左衛門年頭来ル
22日 喜四郎・源右衛門・九右衛門方へ異見ニ参
り候
27日 廿日中町常四郎娘七才死去仕候

3月

3日 松代様御通行
3日 上町佐平次女房死去仕候
6日 九右衛門・孫右衛門方へ同居仕候
9日 宗門帳印形取ル
12日 真米栄之助方博奕有之
15日 七兵衛身上儀ニ付談事有之候
17日 十一日孝平手鎖御免ニ相成ル
20日 半兵衛・兵右衛門百姓代御許容ニ相成ル
28日 宮尾老回忌仕候
29日 組合会合仕候

4月

6日 子尾四郎次・庄三郎論所濟方仕候
7日 下町宗五郎前へ宝塔建立先日有之昨日披露
仕候

7日 七兵衛十三回忌ニ付膳来ル

13日 花屋疱瘡流し

29日 花屋疱瘡流し

5月

5日 為三郎疱瘡流し
6日 年号慶応と改元有之候
7日 松本升屋老母来ル
9日 清左衛門・米蔵論事濟方願下ケ仕候
11日 佐吉ノ長蔵ヲ相手取願出ル
12日 刈敷山之儀触出ス
13日 坂木へ年始ニ行
13日 栄之助出府仕候、孫右衛門同断
19日 宮本源十郎代半九郎願書取次
28日 下井堀村名主政七親死去仕候
29日 十六日將軍様御進発有之由廿九日承ル
閏5月

6日 上町平左衛門娘死去仕候
11日 儀左衛門・又兵衛・又五右衛門ノ歎願取次
願出ル

17日 大雨荒所出来仕候
19日 御奉行様拙宅ニ御弁当・御泊り
21日 上金之儀ニ付役人小前一同御趣意談事仕候
21日 宮本惣八棹源吉帳外被仰付候
26日 宮本荒所見分仕候
27日 神明宮ニ而神主中天氣祭仕候
28日 清五郎松本へ行

6月

朔日 中町兵次郎郷藏脇ニ而紛失物見付候
3日 忠兵衛方召抱下女死去仕候
6日 銭之御解有之候
7日 送り物送り状之写
7日 浪蔵方死去仕候
14日 安左衛門方紛失之品相分り申候
15日 高畑橋見分ニ行
16日 樞三郎儀廿日出牢承ル
17日 上井堀村ノ神明宮へ狂言出ス
18日 桜や庚申講有之
19日 徳三郎病氣発起仕候
20日 昨日安左衛門・平左衛門紛失之品分ル
22日 庄作方へ疱瘡見舞遣ス
23日 法善寺且中へ催代増之儀申来ル
24日 下問屋孫左衛門船国仕候

7月
 19日 花屋庚申講仕候
 24日 九右衛門の孫右衛門掛り候儀今日仕訳ニ罷
 越候
 27日 上町清吉死去仕候
 28日 中町浪藏死去仕候
 29日 伊兵衛死去仕候
 8月
 朔日 秋田やニ而家内もめ仕候
 4日 大阪松屋源助手代来ル
 6日 中町若衆光明寺前ニ狂言仕候
 8日 同断狂言有之
 8日 上田喜兵衛来ル
 12日 越後や清五郎娘嫁途ニ来ル
 13日 吉蔵女房助右衛門運出し候由相分ル
 19日 高畑之者室沢の小間木伐出書有之
 19日 定使友吉暇遣ス
 晦日 庚申講仕候
 9月
 2日 大松江戸の立廻り婦国仕候
 3日 孝平初無尽有之候
 5日 不作ニ付惣代のいろいろ願出ル
 9日 御支配様御泊り
 20日 組合割会合壺両分相定申候
 26日 本陣出入濟方之旦那方御止宿
 10月
 3日 幸三郎今日の百八十日尋被仰付候
 11日 孫右衛門・九右衛門高沢之儀ニ付罷越申候
 16日 玄秀小児死去仕候
 24日 平右衛門方ニ而年回仕候
 28日 九右衛門儀孫右衛門相手取願出ル
 11月
 朔日 清五郎方出産有之候
 2日 忠右衛門舅与右衛門死去仕候
 4日 豊之丞方安産有之候
 6日 桑山村下モ田金三郎出火仕候
 15日 花村佐一郎帯むすび仕候
 19日 仁右衛門娘喜右衛門方へ縁付参ル
 24日 孫右衛門名主役被仰付候
 26日 九右衛門の孫右衛門へ相掛り候一条濟方ニ
 成ル
 12月

23日 喜八母死去仕候

慶応二寅年

1月
 元日 御役所の源右衛門昼時焔村仕候
 8日 林平上田坂木へ年始ニ遣ス
 14日 子尾耕地ニ而坊平森ニ而御柱伐度願出候
 25日 坂木兵左衛門年始ニ来ル
 2月
 朔日 小右衛門悻秀三郎参宮下向ニ付呼れ正月廿
 八日出役仕候
 11日 出役仕候
 16日 荒所之一条願出候
 20日 兵賦之儀ニ付組合之会合仕候
 24日 地蔵川原荒所見分ニ罷越候
 25日 晚向鉄五郎方婚礼有之候
 28日 吉右衛門悻新五右衛門入半仕候
 3月
 朔日 菊五郎方庚申講有之
 5日 林やニ而庚申講仕候
 5日 上町庄兵衛孫死去いたし候
 5日 新十郎母死去いたし候
 6日 清五郎方土蔵建ル、又三郎方庚申講仕候
 6日 孫右衛門今般御役所ニ而苗字御免被仰候
 10日 孫右衛門方ニ而宗門帳印形取
 14日 七弥焔村ニ付七人之者出立会被仰付候
 18日 花や善光寺参詣ニ行
 19日 おふみ同断
 19日 永井村増五郎御役所へ御引立ニ預リ
 21日 与右衛門と差引勘定いたし候
 (4・5・6月記事なし)
 7月
 8日 友成師匠屋根茸替ニ付交わら遣ス
 15日 神明宮ニ而順気御祈致候
 8月
 朔日 永井村杉崎へ宝塔建立有之候
 4日 天野宮角刀下町当番ニ御座候
 3日 孫左衛門妹塩崎村へ縁付遣ス
 7日 夜の南大風有之候
 11日 吉兵衛娘死去仕候
 12日 御通行多ニ村組合役人出張仕候

13日 上田喜右衛門病氣ニ付源右衛門見舞行
 19日 法善寺盗難ニ有之候
 20日 下町源太小児死去仕候
 八月十七日松本近在騒動発起致候
 23日 流し之所大破ニ付普請取掛ル
 24日 貯穀儀ニ付御出役様孫右衛門方御泊り
 25日 清五郎年回有之候
 26日 風呂桶新規仕立候
 27日 半兵衛娘北原村へ縁付遣ス
 28日 越後米買入金割付致し候
 9月
 2日 入妻初ル
 9日 実法御見分有之候
 19日 検見帳へ小前印形取之
 20日 貳番会無尽会致候
 21日 丈作女房出産致し候
 26日 御奉行様御見分御廻村ニ而当场御泊り
 10月
 2日 稻刈初ル
 4日 鶴松来ル
 13日 小左衛門後家死去致候
 19日 立毛御見分として御公役様拙宅へ御泊り
 11月
 朔日 御支配森友左衛門拙宅御泊り田穀之儀ニ付
 2日 坂木ニ而法事有之林平行
 4日 役人一同拙宅ニ而酒呑合
 6日 忠兵衛方婚礼有之
 8日 二納御上納割孫右衛門方
 14日 下町吉兵衛死去致候
 (12月、記事なし)

慶応三卯年

1月
 元日 例年之通年頭相勳申候
 4日 法善寺方丈年始相休申候
 4日 健蔵棹ヲ文五右衛門下男馬足掛ケル
 6日 下町市左衛門方ニ止宿致者死去仕候
 9日 孫右衛門方ニ而御役所ノ御下ケ御賞配当致候
 10日 常弥三男へ菊五郎娘縁談致候
 11日 定使駒吉夫婦定使屋敷引越ス

17日 天使様御崩御御停止触来ル
 25日 博奕御調有之候
 25日 為三郎友成方へ登山仕候
 28日 上町源作女房死去仕候
 2月
 2日 上町清左衛門方不幸有之
 9日 穴へ白氣立ツ
 17日 当村役人一同ニ而源右衛門之名主為揚度ニ付彼是云々一同申来ル
 20日 花屋ニ而安産有之
 3月
 朔日 孫右衛門方へ御出役様有之候
 6日 孝平江戸へ出立仕候
 7日 儀左衛門方ニ而旅人死去致候
 10日 清五郎方出産有之候
 17日 下町金次女房死去仕候
 25日 秋田や老母おみほ儀家内昆雑ニ付拙者ニ当分之間居度申来り候ニ付差置候処終ニ八月廿五日帰宅ニ相成申候
 29日 算違之分差出ス
 4月
 14日 晚月へ筋掛り
 22日 源右衛門・九太夫御召出之御状来ル
 24日 名主役源右衛門御聞届後役九太夫へ被仰付候
 24日 小嶋のおすゑ死去致候
 晦日 宮本浪江女房死去仕候
 5月
 2日 九太夫方へ諸帳面渡ス
 15日 下町金次死去致候
 21日 宮本日向死去致候
 6月
 20日 氷降ル
 7月
 2日 坂木おきく一条今日濟方ニ成ル
 4日 下町儀左衛門棹牧次郎死去致候
 4日 下村甚兵衛願ニ付白米式升遣ス
 8日 上町常右衛門方借家致居候女郎九右衛門棹愛知郡身請致候由
 20日 法善寺当住内披露致候
 23日 鉄五郎・又三郎境之儀云々有之
 24日 市野川村出火致候

- 25日 夜中町河内や清右衛門物置出火
 29日 四阿弥山之儀安坂村云々出来候
 8月
 3日 葦次郎森_ニ而九太夫花火致候
 6日 峠池組板秋致候
 12日 耕地々々へ圃穀貸渡ス
 17日 上井堀村内_ニ天人様と申はやり神新規建立
_ニ付尤先達建立_ニ付今日参詣_ニ行
 20日 とよの川並新右衛門脇道普請役人見分杭打
 渡し
 23日 隠居普請致候
 25日 七兵衛母拙宅_ヲ婦宅_ニ相成申候
 9月
 6日 下町_ニ乞喰芝居有之候
 6日 市野川村出火致候
 9日 九太夫方名主披露致候
 13日 柴十郎後家死去仕候
 15日 馬場峠池之端へ弁才天建立致候
 23日 鉄五郎・又三郎境立之儀云々濟方_ニ成ル
 九月廿一日上田在大屋村刎橋出来候処落橋
 致候
 26日 善光寺檀堂_ヲ七兵衛方へ結納_ニ来ル
 28日 七兵衛小布施村へ結納_ニ出立致候
 10月
 5日 丈輔娘九太夫妻_ニ内々取決候由
 12日 とよの川池堀仕候
 12日 峰松召抱之下女矢倉村次郎吉相對経死致居
 候処今日見付申候
 16日 下町儀左衛門父死去仕候
 22日 九右衛門方払物有之候
 26日 上町舞台_ニ而芝居仕候
 28日 土御門殿家御宿致候
 11月
 3日 室沢山之儀矢倉村与云々_ニ及び候処今般濟
 方_ニ相成申候
 11日 七兵衛次男五十司縁談之儀_ニ付善光寺へ行
 16日 九太夫母おせち追分宿_ヲ引取申候
 25日 七兵衛方婚礼有之候
 12月
 2日 昨日新積圃穀御請致置候処今般御改_ニ付源
 右衛門今年役終務請取可申分式俵清五郎取斗
_ニ而積穀致し候由清五郎申之
 6日 法善寺奉加金出金致候
 8日 九太夫内祝言致候
 8日 上町純右衛門母死去致候
 12日 葦沢孫右衛門妻迎婚礼致候
 12日 上町五郎左衛門方婚礼有之候
 20日 七兵衛儀_ニ付上田並中野条へ七兵衛同道_ニ
 而出立致候
 20日 半兵衛儀年寄名目附候様被仰付候由
 26日 餅搗致候

付記

人文学部の日本史学研究室は、長年にわたって松本平およびその周辺、近世・近代におよぶ農村史料調査を行なってきた。本稿は、その過程で所在を知った貴重な内容をもつ日記史料の要項である。その一端を紹介することでも十分に意義のあることであると判断したので、ここでは史料紹介の形をとった。葦沢家日記をふくむ葦沢家文書は、現在東筑摩郡麻績村の村誌編纂室に寄託されている。史料調査に便宜をはかっていた同村誌編纂委員長渡辺義晴氏に感謝の意を表するしだいである。なお、本稿は、昭和61年度科学研究費補助金（一般研究C）による研究の一部であることを付記する。